

芸術の秋到来！名古屋市美術館で開催中、“ボテロ展 ふくよかな魔法”とのコラボレーション企画！
ボテロの絵画4点を、ホテルシェフ&パティシエが巧みに表現

『“ボテロ展 ふくよかな魔法”コラボレーションフレンチ』販売

■期間：2022年9月1日(木)～9月25日(日)

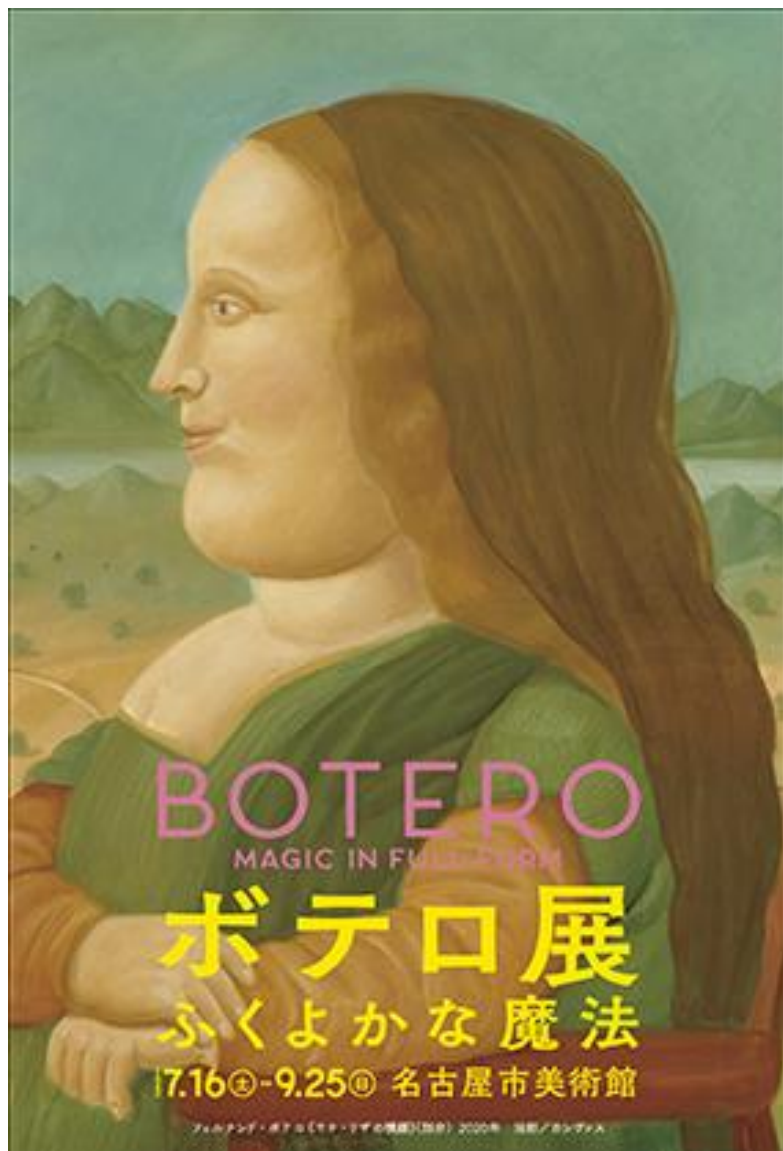
■場所：ストリングスホテル 名古屋「グラマシースイート」

株式会社ベストブライダル(本社：東京都渋谷区、代表取締役：塚田正之)が運営する、ストリングスホテル 名古屋(所在地：愛知県名古屋市中村区平池町4-60-7)。2022年9月1日(木)～9月25日(日)まで、ホテル自慢のフレンチ料理がお楽しみいただける「グラマシースイート」にて、『“ボテロ展 ふくよかな魔法”コラボレーションフレンチ』を販売いたします。

本企画では、2022年7月16日(土)～9月25日(日)に名古屋市美術館で開催中「ボテロ展 ふくよかな魔法(HP：<https://www.ctv.co.jp/botero/index.html>)」にて展示されている、“丸くふくよか”な造形の豊かさが特徴のフェルナンド・ボテロの絵画4点を、ホテルシェフ&パティシエが料理とデザートでアーティスティックに表現。(※全7皿構成のコースのうち、4皿を絵画で表現) 今秋はストリングスホテル 名古屋で、“芸術の秋・食の秋”を存分にお楽しみください。

※新型コロナウイルス感染症(COVID 19)に伴う社会情勢により、一部店舗の営業休止・営業時間変更等を実施する場合がございます。営業情報に関しては、ホテル公式 HP <https://www.strings-hotel.jp/nagoya/nagoya/> をご確認ください。

※写真はイメージ



フェルナンド・ボテロ《赤の花》(3点組) 2006年 油彩／カンヴァス



フェルナンド・ボテロ《コロンビアの聖母》1992年 油彩／カンヴァス



フェルナンド・ボテロ《オレンジ》2008年 油彩／カンヴァス



フェルナンド・ボテロ《バレレッスン中のバレリーナ》2001年 油彩／カンヴァス

◆◇ホテルに関するお問合せ先◇◇

ストリングスホテル 名古屋 広報担当：石川／岩田

TEL:052-589-0561/Fax:052-589-0563 E-mail: bb-pr@bestbridal.co.jp

『“ボテロ展 ふくよかな魔法”コラボレーションフレンチ』販売概要

■場所: 1F/「グラマシースイート」

■企画: “ボテロ展 ふくよかな魔法”コラボレーションフレンチ

■営業時間:

・月～木曜日: 11:30～21:00 (L.O.: ランチ14:00/ディナー19:30/アラカルト19:30)

・金曜日: 11:30～22:00 (L.O.: ランチ14:00/ディナー20:00/アラカルト20:00)

・土日曜日(祝日含む): 11:00～22:00 (L.O.: ランチ14:00/ディナー20:00/アラカルト20:00)

※最新の営業時間はHPをご確認ください。

■電話番号: 052-589-0787 (レストラン代表)

■料金: 12,100円(消費税込・サービス料15%別)

■HP: <https://www.strings-hotel.jp/nagoya/recommend/restaurant/cafe/12326.html>

■メニュー: ※仕入れ状況により、内容に変更が生じる場合がございます。

【アミューズ(フェルナンド・ボテロ《赤の花(3点組)》2006年 油彩/カンヴァス)】

栗のムースリヌ エスプーマ仕立て フランボワーズとスベキュロスのアクセント



▲コース全7品 イメージ

【前菜】

縞鰯とシャインマスカットのカルパッチョ デイルと山葵の香り アンディーヴのコンディメントと共に

【スープ(フェルナンド・ボテロ《コロンビアの聖母》1992年 油彩/カンヴァス)】

甘栗南瓜とバターナッツスカッシュのポタージュ ゲーゼールとレモンオイルのパウダーを添えて

【魚料理】

鱈のコンフィ インカの目覚めとシャドーQueenのジュリエヌ 小松菜のクーリ ケッパー香るブル・ノワゼット

【肉料理(フェルナンド・ボテロ《オレンジ》2008年 油彩/カンヴァス)】

国産牛頬肉の赤ワイン煮込み 国産人参のビュレ オレンジのクリュディテとパッパルデッレ 黒胡椒を香らせて

【アバン】

アーモンドのブラン・マンジェ エルダーフラワーとマジョラムのグラニテ

【デザート(フェルナンド・ボテロ《バーレッシン中のバレリーナ》2001年 油彩/カンヴァス)】

ショコラ・ブランのデグリネゾン

※写真はイメージ



フェルナンド・ボテロ《赤の花》(3点組) 2006年 油彩/カンヴァス



フェルナンド・ボテロ《コロンビアの聖母》1992年 油彩/カンヴァス



フェルナンド・ボテロ《オレンジ》2008年 油彩/カンヴァス



フェルナンド・ボテロ《バーレッシン中のバレリーナ》2001年 油彩/カンヴァス



『ボテロ展 ふくよかな魔法』開催概要

- 展覧会名: ボテロ展 ふくよかな魔法 BOTERO-MAGIC IN FULL FORM
- 会期: 2022年7月16日(土)～9月25日(日)
- 会場: 名古屋市美術館 (〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番25号 芸術と科学の杜・白川公園内)
- 電話番号: 052-212-0001
- FAX: 052-212-0005
- 開館時間: 09:30～17:00 (いずれも入場は閉館の30分前まで) ※9月23日を除く金曜日は20:00まで
- 休館日: 毎週月曜日(7月18日・8月15日・9月19日は開館)／7月19日(火)／9月20日(火)
- 主催: 名古屋市美術館、中京テレビ放送
- HP: <https://www.ctv.co.jp/botero/index.html>

【展覧会概要】

南米コロンビア生まれの芸術家フェルナンド・ボテロ(1932-)。1950年代後半から注目を浴び始め、今日では現代を代表する美術家の一人に数えられています。

彼の手にかけると、楽器や果物、動物、さらにはあのモナ・リザさえもが、丸くふくよかな姿となって現れます。ボテロ作品のふくらみが持つ形の豊かさは、「観る者を突き動かすような官能を伝える」というボテロの言葉通り、ユーモアやアイロニーなどさまざまな要素を絡めつつ、生きる喜びを湧き上がらせてくれるような魅力を持っています。

一度見たら忘れられなくなるボテロ・スタイル誕生のきっかけは、ボテロ24歳のとき。ある日、マンドリンを描こうとしたボテロは、楽器の音響孔を、実際よりも小さく、黒い点のように描き入れました。すると、その小さな孔との対比によって、マンドリンの丸いボリューム感がより際立って表れてくるのに気づきました。ボテロは、この不意に生まれた造形の豊かさに芸術的な美を見出したのです。

ボテロの作品は、各地の美術館で世界中の人々を魅了し続けています。日本で26年ぶりとなる本展は、今年で90歳を迎えたボテロ本人監修のもと、初期から近年まで、世界初公開作品を含む油彩・水彩・素描70点を紹介いたします。ふくらみの中に託したボテロの魔法を、ぜひ目の当たりにしてください。

